



夏特集

雷から身を守る正しい対処法

夏休みには、様々な場所へ出かける機会が増えます。しかし、青空ばかりの40日間ではありません。夕方近くになると、どこからともなくゴロゴロと雷の音が聞こえ、やがて夕立の雨が降るのが夏の天気です。そのような雷から身を守るにはどうすればよいかを載せてみました。



時計やイヤリングなど、金属を身につけていると、雷が落ちやすいか？

× さまざまな実験から、金属を身につけているかどうかは関係ないことがわかっています。



ゴム製の長靴やかっぱなど、電気を通さない絶縁体を身につけていると雷は落ちないか？

× これも実験によって無関係であることが明らかになっています。



雷は高く尖ったものに落ちやすいか？

○ 広い野原で同じ人形を2つならべ、片方に傘を差させると、傘が電気を通さないプラスチック素材でも、雷は傘を差している人形に落ちます。



どこが安全？どこが危険？

安全

- ① 鉄筋コンクリートビルの中に避難すれば安全です。
- ② 高いビルとビルの間の狭い空間に雷が落ちることは、非常にまれです。
- ③ 周りに建物が無いときは、身体をかがめながら樹木などの木の下に避難しましょう。ただし、真下は危険。木の高さを半径にした円の内側で幹や枝から4～5m離れた範囲が安全です。

危険

- ① 幅の広い道路の真ん中。
- ② 広い野原や砂浜、テント内。
- ③ 海面に浮かぶヨットやボート。
- ④ 雷の電流は、電線や電話回線を通して屋内に入ってくる可能性もあります。電気製品から1m以上離れるのが無難です。

